

⑤安全巡礼に取り組む

私が所属する「四国のみちを守る会」は現在、総勢63人で構成、うち8人が鉄道OB会員です。

地域と共生

日本鉄道OB会

四国のみちは、OB会員の多くは一度は歩かれたのではないでしょう。私は守る会の副会長として、弘法大師の遺徳を顕彰し、全国から訪れるお遍路さんの安全な歩行、安心して巡礼できる環境整備・維持管理などに取り組んでいます。この活動を通じて会員一人

びです。

活動内容は、香川県

四国のみち(四国自然歩道)は全長約1550キロにもおよぶ長距離自然歩道。起点は徳島県鳴門市で、終点は同県板野町。四国霊

高松市国分寺町付近の「五色台のへんろみち」と称されているコースでの▽歩道・路傍休憩所の清掃・除草▽公衆トイレの清掃▽パトロ

ームなど。過疎化・高齢化が進展する中で、自然環境を維持していくことは大変です。作業中、お遍路さんから道を尋ねられるこ



「四国のみち」の整備活動に取り組む竹内さん(前列右から2人目)

ともしばしば。その際には必ず「お元気で……」と一言添えるようにしています。

(四国鉄道OB会香川支部・竹内勉、85)

⑥土との触れ合いを

55歳の時に陶芸教室に通い始めました。週1回の輪廻(ろくろ)回しを続けること5年。その後も含めて、陶芸の魅力に魅せられながら、わが家の庭には陶房「孝(つちのこ)」を設けるまでに至っています。

地域と共生

日本鉄道OB会

私が製作する陶器は、普段使いの器が中心となりますが、平成29年には静岡県の工芸家協会会員に認定されました。

当初、陶房は教室として開設したもので、

という見学者に請われる形で、1週間に3日間程度指導するまでになっています。生徒さんの中には鳥田市の文化祭に作品を出品する方もいらっしやいます。

近年、地元敬老会などではモノづくりが盛

んだこと。陶芸に関する指導依頼もあり、出向くこともありま



陶芸教室などで指導する孕石さん(左)

す。道具の手配、土の準備など大変な面もありますが、作品が完成

(東海鉄道OB会静岡地方本部鳥田支部・孕石文男、80)